

第8回JR総連OB連絡会定期総会開催！

JR 総連OB連絡会第8回定期総会は、9月14～15日の両日、目黒さつき会館で、全国から約80名（貨物10名）が参加し、全員で黙とうをしたのち開催しました。

総会メインスローガンの“震災に負けず、OBの総力で脱原発、安全で平和な社会を創造しよう！”のもと、大熊会長から、東日本大震災の被災した会員に対する、復旧・支援の取り組みにより、全国で742万円余りを集めることができた。今後も復旧・復興の取り組みと、脱原発のたたかいを積極的に進めていくと挨拶があった。



また、来賓で臨時国会が開催されている最中、田城参議院議員が駆け付けて、国会の状況に加えて、東日本の大災害の中で、3月19日迂回列車で、ガソリンを被災地に大量に送ったことの重要性、また、仙台臨海鉄道など壊滅的な被害を受け、これらの復旧に多額の資金が必要であり、「第3次補正」の中で対応できるように、努力してい

きたいと決意が語られました。

総会では、10名の発言があり、貨物の後藤幹事から、被災状況と会員の安否確認をガソリン不足と瓦礫を乗り越え取り組んだ。同時に、福島第一原発の悲惨な現状を報告し、脱原発の重要性を訴えた。

総会は、“原発に頼らず、安心して生きられる社会にするための特別決議”と総会決議を採択し、会則の一部改正と役員選出を確認して、成功裡に総会を終了しました。

